

新型コロナウイルス感染症対策基金の活用について（令和3年度当初予算：基金充当事業）

新型コロナウイルス感染症対策基金

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症対策に要する事業に必要な経費に充てる。
 [期限：令和4年3月31日]

(2) 活用できる金額 [見込み] 415,061千円

- ・ R 2 年度末基金残高 310,807千円
- ・ R 3 年度積立額 [予算] 104,254千円

● R 2 は国の交付金を優先して活用
 ● 基金は、基本的に R 3 での活用を念頭に…。

(3) これまでの充当事業

- ・ がんばる小規模事業者応援給付金 [第6次] 10,000千円
- ・ P C R 検査費用助成費 [第8次] 5,188千円
- ・ クリーニングサポート事業 [第8次その2] 47,305千円 * 今回充当

基金充当の考え方

- ① 医療・検査体制の強化をはじめ、医療従事者等を応援し、活動を支援する事業
- ② 市有施設や市内小中学校で安心して活動できるよう、市民や児童生徒が直接使用する衛生用品の購入等を行う事業
- ③ コロナ禍において影響を受けている市民や減収となっている事業者への直接支援のほか、需要拡大のための商品開発・販路拡大の取組を支援するなど、地域経済を下支えする事業
- ④ 事業者が実施するテレワークの導入などの感染拡大防止に向けた環境整備を支援する事業

令和3年度当初予算 新型コロナウイルス感染症対策基金充当事業

医療・保健対策

(1) 医療・検査体制の強化

- ◎ P C R 検査費用の助成 【充当額 18,583千円】
 - ・ 高齢者施設の新規採用職員に対する検査費用の助成（上限2万円/人）

(2) 市有施設における感染リスクの低減

- ◎ 衛生用品（消毒液等）の購入【充当額 10,728千円】
 - ・ 高齢者等健康福祉センター（いきいきセンター）、近文市民ふれあいセンター、老人福祉センター、障害者福祉センター、春日青少年の家、市立小中学校、大雪クリスタルホール、市民文化会館、公民館、図書館、科学館、博物館

【令和3年度当初予算での充当額】

- 医療・保健対策 29,311千円
- 経済対策（事業者） 93,628千円 計 122,939千円

基金充当額 累計 185,432千円

経済対策（事業者）

(1) 事業者への支援

- ◎ J R の利用促進 【充当額 1,000千円】
 - ・ J R 富良野線、宗谷線、石北線の利用者への補助金拡大（3,000円→5,000円）
- ◎ 市独自の制度融資の拡大 【充当額 34,374千円】
 - ・ 経営力強化サポート融資の拡充等（信用保証料1/2→2/3、2年間利子の全額を補助）
- ◎ 教育旅行等の誘致促進 【充当額 13,917千円】
 - ・ 修学旅行や合宿でのホテル、旅館の宿泊者に飲食店等で利用するクーポン配付
- ◎ 新たな商品開発や販路拡大を支援 【充当額 9,240千円】
 - ・ 家具、地場産品、高齢者向け食品を対象とする補助金の補助率等の引上げ
- ◎ 農産物流通拡大への支援拡充 【充当額 2,500千円】
 - ・ 農産加工販売設備導入等への補助金の補助率の引上げ
- ◎ 新規就農フェアへのオンライン出展 【充当額 143千円】
- ◎ 北の恵み食ベマルシェの開催 【充当額 6,200千円】
 - ・ 感染対策に配慮した会場設営経費、市内消費拡大に向けたチケット販売

(2) 新たな生活様式に対応した経済活動の推進

- ◎ テレワーク導入に対する助成等 【充当額 6,000千円】
 - ・ テレワーク導入奨励金 20万円×15件 など
- ◎ イノベーションモデル創出支援費 【充当額 12,524千円】
 - ・ 異業種連携による新たなビジネスモデル創出に対し助成 250万円×5件
- ◎ 市内企業の I T 導入を支援 【充当額 7,730千円】
 - ・ テレワークやオンラインなどに取り組む中小企業者向けセミナー開催等